

海と日本プロジェクトを推進する 鹿児島県の市長村長から応援メッセージをいただきました!



西之表市は、種子島の北部に位置し、海の玄関口として多くの観光客、ビジネス客が往来します。ヨットレース等のイベント、サーフィン、シーカヤック等のマリンスポーツも盛んで、様々な形で海を楽しむことができます。周辺海域には有数の漁場が形成され、トビウオ、キビナゴ、アオリイカ、トコブシなど、海の恵みも豊富です。

西之表市は、この素晴らしい海を未来に引き継いでいけるよう、「海と日本プロジェクト」を応援します。

鹿児島県西之表市長 八板 俊輔



鹿児島と沖縄の中間の奄美大島に位置する奄美市は、奄美群島の郡都を担う街です。海に囲まれた外海離島であり、美しいサンゴ礁の海、貴重な動植物が数多く棲息する森、独自の伝統文化を有し、日本を代表する世界自然遺産候補地として登録へ挑戦しているところなのです。

先人が自然との共生の中で守り育ててきた島の宝を国内外に広く発信し、次世代へしっかりと受け継いでいけるよう、「海と日本プロジェクト」を応援してまいります。

鹿児島県奄美市長 朝山 毅



太平洋に面した肝付町は、薩摩藩の御手網処として古くから漁業が盛んな町で、海から多くの恵みを受けてまいりました。今でも県内有数の水揚げ量を誇る伊勢えびや「かごしまのさかな」ブランド認定された辺塚だいたいかんばちなど水産業の振興と豊かな海づくりに力を入れています。

海と日本プロジェクトが行う、子どもから大人まで幅広い世代に向けた様々な取り組みをこれからも全力で応援して参ります。

鹿児島県肝付町長 永野 和行

海と日本PROJECTの推進パートナーになりませんか?



推進パートナーとは、海を未来に引き継ぐアクションの輪を広げていくために、海と日本PROJECTが推進する5つのアクションに基づく活動を一緒に盛り上げる企業・団体です。詳しくは、
海と日本PROJECT in 鹿児島実行委員会までお問い合わせください。

今後のプロジェクトにご期待ください

海と日本プロジェクトin鹿児島の最新情報は...

MBCテレビ・ラジオ・WEB・各種SNSで随時、海と日本プロジェクトの取り組みをご紹介します。

鹿児島 海と日本 鹿児島 検索

<http://kagoshima.uminohi.jp>

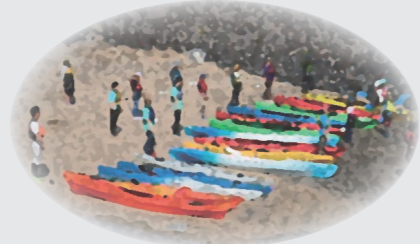
全国 海と日本プロジェクト 検索

<http://uminohi.jp>

[お問い合わせ]

海と日本プロジェクトin鹿児島実行委員会
(事務局：MBC南日本放送内)

〒890-8570 鹿児島市高麗町5番25号
TEL099-254-7119 (MBC南日本放送業務推進部)
FAX099-254-7029
MAIL marine_day@mbc.co.jp



ふるさとの海をもっと知ろう! ふるさとの海を未来へ残そう!

THE NIPPON FOUNDATION 海と日本 PROJECT in 鹿児島

活動レポート vol.03



鹿児島県は南北600キロ、総海岸距離全国3位で離島面積は全国1位。

四方は太平洋と東シナ海に囲まれ、桜島を擁する錦江湾を抱えています。

黒潮の玄関口でもあり、豊かな海では日本のおよそ6割の魚種が確認できます。

海と日本PROJECT in 鹿児島では、日本で一番きれいな海を目指し様々な表情を持つ鹿児島の海の今と未来を多くの皆さんにお伝えします。



THE NIPPON FOUNDATION 海と日本 PROJECT X MBC南日本放送

海と日本プロジェクトとは、次世代を担う子どもや若者を中心として多くの人が海への好奇心を持ち、行動を起こすムーブメントをつくることを目指し、海の日が20回目を迎える2015年に始まりました。鹿児島ではMBCが事務局となり取り組みを進めています。海に囲まれた日本の素晴らしい海を盛り上げるための様々な取り組みが全国で行われます。MBCは海と日本PROJECT in 鹿児島としてこの取り組みに賛同し、古くから生活・食・文化など密接な関係にある鹿児島の海を盛り上げていきます。

海と日本プロジェクト公式サイト uminohi.jp

日本財団 THE NIPPON FOUNDATION 海と日本 PROJECT in 鹿児島 2019

2019年度、海と日本PROJECT in 鹿児島で行われた取り組みの一部をご紹介します。

鹿児島島の海を発信!

鹿児島島の海にまつわる情報をウェブサイトが発信しました!



鹿児島島の海を応援! 32の【海応援動画】

海の情報を多数取材し32の海応援動画を公開

【全国の海の情報も多数公開中】

海で活躍する人々【海活インタビュー動画】

鹿児島島の海をフィールドに活躍する人々を取材。ふるさとの海を盛り上げる人々の思いをご覧ください。

海と日本 PROJECT in 鹿児島 × 企業・団体コラボレーション企画

街中で捨てられたプラスチックごみが海に流れ着き、海の生態系に影響を与える環境問題に対して、実行委員会では、きれいな海を取り戻すための様々な取り組みを今年度からスタート。

イベント

鹿児島大学ウミガメ研究会
鹿児島大学ウミガメ研究会と連携して、夏休み子どもたちに向けたイベント「夏休み自由研究お助け隊」を行った。



店舗

株式会社城山ストアー
株式会社城山ストアーと連携して、オリジナルの「海弁当」を開発し、店舗で販売。鹿児島島の海を味わえるお弁当となっており、プラスチックごみ削減とした、包装、箱の仕様となっている。



薩摩串木野まぐろの館
マグロの血合い肉を使った未利用資源削減のオリジナルメニュー「まぐろステーキ丼」と「まぐろモツ味噌煮」を発売。マグロの血合い肉(未利用資源)を使うことで、資源の有効活用を図った。



鹿児島島の海を体験しよう!

2019年8月、「小学生＝われはうみの子」たちと鹿児島島の海の未来を考えるイベントを開催しました。



われはうみの子探検隊～海のカ～

1日目
海の危険を学び
海のカを知る



- 錦江湾の環境について座学
- 海流発電「かいりゅう」の見学
- カヤックを漕いで潮の流れを体感するアクティビティ等

2日目
豊かな海の
未来のために



海を持つパワーを体感!
海流発電の持つ力を体験しました!

われはうみの子
探検隊

さばける塾 in かごしま



「魚をさばく」という行為から海の豊かさを感じよう。親子10組の参加、魚のさばき方をテーマに料理教室を開催。
連携団体：日本さばけるプロジェクト実行委員会

スポGOMI甲子園鹿児島県大会

全国25都道府県の高校生がゴミ拾いを競い合う「スポGOMI甲子園」開催。3人1組のチームで、60分の制限時間内に定められたエリアで力を合わせごみを拾い、その質と量をポイントで競い合う、地球にもっとも優しいスポーツ。



連携団体：スポGOMI連盟

推進パートナーに様々な活動で本プロジェクトを盛り上げていただいています。



チェスト! FOR THE BLUEかごしま

鹿児島 チェスト FOR THE BLUE かごしま 検索 <https://www.mbc.co.jp/event/umigomi/>

海ごみゼロウィーク

海洋ごみ対策を目的とした全国一斉清掃キャンペーン「海ごみゼロウィーク」が5月30日(ごみゼロの日)から6月5日(環境の日)を経て6月8日(世界海洋デー)までの前後の期間を「海ごみゼロウィーク」として、全国一斉の清掃活動を実施することで、海洋ごみの周知とともに、海洋ごみの流出を少しでも防ぐことを狙いとして実施。



海ごみゼロアワード

与論町、誇れるふるさとネットワーク「一人の100歩から100人の一歩へ「拾い箱」プロジェクト」が日本財団賞を受賞!



チェスト! FOR THE BLUEかごしま 海ごみ探検隊の結成



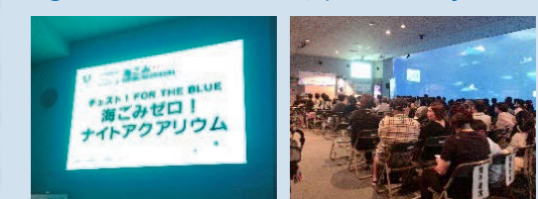
鹿児島県に住む小学生20名海洋ごみ削減を目指す「チェスト! FOR THE BLUEかごしま海ごみ探検隊」を結成。

1万人ごみゼロ運動

MBC夏まつり会場にて、海洋ごみ削減を目指す「チェスト! FOR THE BLUEかごしま、1万人ごみゼロ運動」を展開。来場者に、海洋ごみ削減を呼び掛けた。



海ごみゼロ! ナイトアクアリウム



鹿児島市と連携して、一般参加者200名を招き、いおワールドかごしま水族館で海洋ごみに関するシンポジウムを行った。